



# えごた

<http://nk-egota-e.a.la9.jp>

令和2年  
6月13日号  
江古田小学校  
児童数 430名

TEL03-3385-0411

学校の教育目標◎かंगाえる子ども○やさしい子ども○たくましい子ども(◎重点目標)  
目指す学校の姿「元気いっぱい、笑顔で挑戦、子ども一人ひとりがよさを発揮できる学校」



## 大切にしたいこと

校長 松井 貴子

### 【いろいろな視点から考えよう】

夏になりプールからヤゴを救出しました。職員室前や2年生の教室でお世話をしています。観察に来る子どもたちの話に耳を傾けていると、「トンボの子がヤゴ。僕のことかどんな風に見えるのかな。」「こっちを見ている。友達だと思ったのかな。」子どもたちは自然界の生き物と友達になる天才だと感心します。

ところで自然の中で面白いことを発見するには、見る視点を変えることがおすすめです。例えば、体前屈をして両足の間から人の顔や風景を眺めて見ると面白いことに気が付きます。「あれ？誰だったかな。」「ここは、どこ？」と違って見え、新鮮な発見があるものです。網膜上での顔の向きや風景が普段の経験と異なることにより分かります。自分の見える範囲や見え方も状態によって多様に変わります。授業では、いろいろな視点から考えられる柔軟さを伸ばしていきたいと思います。

### 【心を込めて笑顔で伝えよう】

学校が再開し、新しい学級での友達や先生との関係づくりの大切な時期です。江古田小学校では「笑顔で挑戦」をコンセプトにしています。ですから人との関係づくりでは、笑顔で挨拶して欲しいと思っています。

ところで、笑顔とは「喜び」の感情を伝えるための顔の表出行動です。ある研究によると、「喜び」は声だけでは約40%しか伝わらないが顔の表情など加わると80%以上伝わるそうで、顔の表現はとても大切なことが分かります。また、「喜び」は頬と口の部分を見ただけで98%、目や瞼の部分が加わると99%伝わるそうです。マスクを付けた新しい生活は、息苦しいだけでなく感情を伝えづらくしています。そこでこんな時こそ、心を込めた笑顔の伝え方を工夫したいものです。

また、「言葉の力」(情報を正確に理解した上で、相手の表現や意図の背景を推論し、根拠を挙げて自分の考えを述べ話し合っ解決する力)を磨き、上手に言葉で気持ちを伝えたいものです。そのために本年度も読書活動を充実させ、語彙力や感性を豊かにしたいと考えています。6月1日～12日は第1回の読書旬間でした。12日金曜日には、各学級担任がソーシャルスタンスを考慮しながら読み聞かせをしました。家庭でも笑顔で本の思い出等を話題に会話をしていただき、すすんで読書を楽しむ子どもの育成に御協力のほどよろしくお願いいたします。

### 【学校再開で大切にしたいこと『新しい生活様式』と季節に合わせた健康教育の推進】

学校では、国の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～『学校の新しい生活様式』～」や都の「新型コロナウイルス感染症対策と学校運営に関するガイドライン～学校の『新しい生活様式』の定着に向けて～」、区の「中野区立学校再開マニュアル～感染症予防や健康上の配慮について～」の方針等を踏まえて対応しています。また、いよいよ夏の暑さが厳しくなってきます。金曜日に熱中症対策についてお知らせを出しましたが、「ウォータータイム」を実施し、こまめな水分補給について指導しております。水筒の持参等、引き続き皆様の御理解と御協力をどうぞよろしくお願いいたします。